



ADK

61st

BUSINESS
REPORT

株式会社アサツー ディ・ケイ

第61期 報告書

平成27年1月1日～平成27年12月31日



コンシューマー・アクティベーション・カンパニーへの進化に向けて 基盤構築と構造改革を継続します。

代表取締役社長・グループCEO

植野 伸一

現在までに、計画の定性目標である「CAビジネス戦略基盤の拡充」「収益体質の改善」「資本効率化の推進」について一定の成果を上げ、国内外グループ会社の構造改革は進展を示しています。一方で、CAビジネスのグループ全体への浸透が進んでいないこと、M&Aの進捗が鈍いことにより、当初の計画に対して伸びが緩やかにとどまっています。このような課題を残していることから、2017年度からの加速成長期に移行するには時期尚早であり、構造改革の継続が必要であると見ています。

Q 第61期(2015年度)の営業状況を総括願います。

2015年度は、企業収益や個人消費に見られる国内経済の緩やかな改善傾向を背景に、広告業界も概ね堅調に推移した1年間でした。その中で当社は、ソリューション基盤の整備と収益管理体制の強化を継続しつつ、グループ全体の構造改革に向けて、内製化やインフラの共通化、コストコントロールに注力していきました。

結果として連結業績は、国内におけるマーケティング・プロモーションや制作の減少、医療系広告会社の低迷により、売上高は前期比微減にとどまりましたが、販管費の抑制効果や新規連結子会社の貢献などが利益を押し上げ、期初の予想を上回る増益を果たしました。

Q 中期経営計画の進捗についてお聞かせください。

当社は、中長期的なビジョンとして「コンシューマー・アクティベーション(CA)カンパニー」への変革を目指す「VISION 2020」を掲げ、その実現に向けて中期経営計画(2013年度～2016年度)を策定いたしました。本計画は「VISION 2020」の第1フェーズ=基盤構築・構造改革期に位置付けられ、当初は2016年度における営業利益目標を70億円としていました。

Q 第62期(2016年度)の見通しはいかがですか？

2016年度の連結業績予想について、売上高3,540億円(前期比0.6%増)、営業利益54億円(同10.2%増)、経常利益85億5千万円(同0.5%減)、当期純利益55億円(同2.6%増)としています。

引き続きCAカンパニーへの変革を目指し、各事業の専門性とシナジーを高めていくための組織改編と人材投資を実施し、同時に財務基盤の強化を図っていきます。

Q 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。

CAビジネスの基盤確立にはさらなる時間と投資を要するものの、当社グループの業績は着実に改善しています。これから2020年に向けて、オーガニックで年率10%前後の営業利益の伸長を果たし、中長期的にはROE8%の水準を目指していく考えです。

株主の皆様におかれましては、当社グループ事業の持続的な成長にご期待いただき、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画の見直し

基盤構築・構造改革期

構造改革を継続しつつ 加速成長期に移行



今後の方向性

定性目標	今後の方向性
CAB戦略基盤の拡充 【中期～長期】	<ul style="list-style-type: none"> 一層の投資積極化(人材・システム等への投資) WPPとの提携関係強化 投資枠400億円の活用
収益体質の改善 【短期～中期】	<ul style="list-style-type: none"> セクター新設を含めた組織改編と、セクターによる収益管理体制の確立 グループによるバリューチェーン構築
資本効率化の推進 【短期～中期】	<ul style="list-style-type: none"> ROEに加え、「事業」そのものの収益性・成長性を追求 株主還元を通じた余剰資本効率化



組織 > 組織改編⇒事業毎に専門性やシナジーを高め、付加価値を向上
 ● セクターを新設。セクター内に関係会社も含めたバリューチェーン構築
 ● セクター単位での利益責任と、収益意識の醸成

人材 > 「人材」への投資を積極化
 プロフェッショナル人材の獲得
 (クリエイティブ・デジタル・経営戦略等)
 ● 海外をはじめ、クリエイティブ領域でのプロフェッショナル人材獲得
 ● 投資戦略・資本政策などに長けた、M&A人材・財務担当等の積極登用
 ● 独自性の高い採用選考による優秀な人材の獲得
 人材育成・能力開発(マネジメント系・専門系)
 ● 教育プログラムの充実
 ● 国内外の研究機関との連携、海外留学、WPPグループへの派遣など

財務基盤 > 事業収益性・効率性の管理
 ● ROE: 2.8%(FY2014) ⇒ 4.2%(FY2015) ⇒ 中期目標8%以上
 WPP株式会社について
 ● 資本提携・業務提携により保有
 ● 包括利益+配当を考慮すると高いリターン

> **新設セクター** (2016年1月より)

国内基幹事業

営業・ダイレクトビジネス・
クリエイティブ・プランニングなど

ADKグローバル

海外事業
(アウトバウンド・インバウンド)

メディア&データインサイト

マスメディア+デジタル、
データマネジメント

コンテンツ・ビジネス

コンテンツ事業

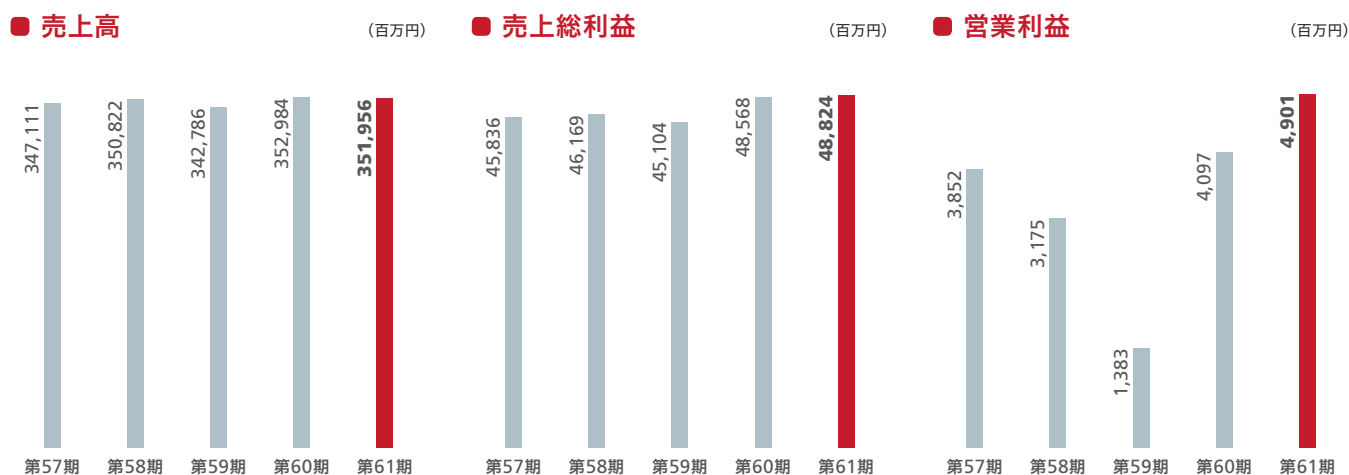
エンタテインメント& スポーツマーケティング

オリンピック・パラリンピック・
文化スポーツ事業など

5カ年業績推移

決算期(年度)	第57期	第58期	第59期	第60期	第61期
経営成績(百万円)					
売上高	347,111	350,822	342,786	352,984	351,956
売上総利益	45,836	46,169	45,104	48,568	48,824
営業利益	3,852	3,175	1,383	4,097	4,901
営業利益率(%)	1.1	0.9	0.4	1.2	1.4
経常利益	5,627	5,314	4,327	7,251	8,590
当期純利益	2,293	2,781	3,430	3,696	5,362
総資産	184,188	195,163	228,170	243,317	235,205
純資産	96,800	109,559	130,972	134,999	125,488
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,957	2,581	3,175	8,169	10,192
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,779	△1,719	6,270	△177	5,046
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,944	△1,184	△6,336	△6,640	△23,803
現金及び現金同等物の期末残高	26,519	27,264	32,410	35,082	25,924
財務指標(%)					
自己資本当期純利益率(ROE)	2.3	2.7	2.9	2.8	4.2
自己資本比率	52.0	55.6	56.9	55.1	52.7
1株当たりデータ(円)					
1株当たり当期純利益(EPS)	54.37	65.83	81.79	88.32	127.72
1株当たり純資産額(BPS)	2,270.23	2,567.03	3,105.40	3,204.87	2,947.40
1株当たり年間配当金	109.00	111.00	141.00	571.00	248.00

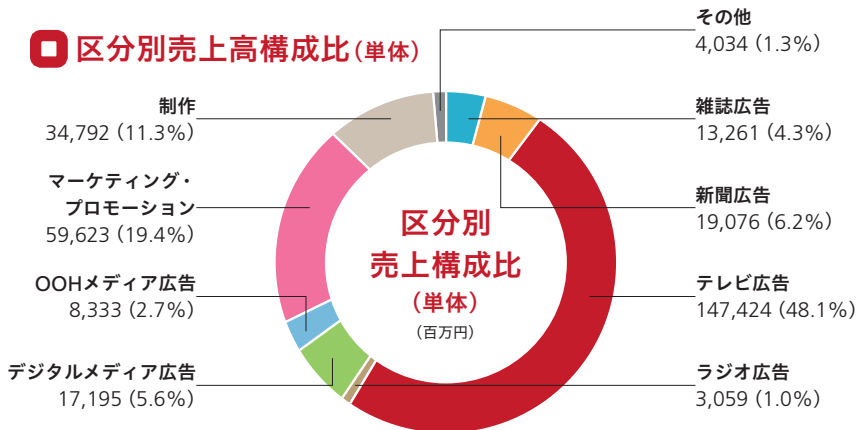
連結決算の概況



資産関連増減ポイント

- 資産合計** 保有投資有価証券の一部売却や配当金の支払いなどを通じて余剰資産の圧縮を進めた結果、前期末に比べ81億11百万円減少の2,352億5百万円となりました。
- 負債合計** 支払手形及び買掛金の増加や、投資有価証券の時価上昇に起因する繰延税金負債の増加などにより、前期末に比べ13億98百万円増加の1,097億16百万円となりました。
- 純資産合計** その他有価証券評価差額金の増加があった一方で、配当金の支払いに伴う利益剰余金の減少により、前期末に比べ95億10百万円減少の1,254億88百万円でありました。

区分別売上高構成比(単体)



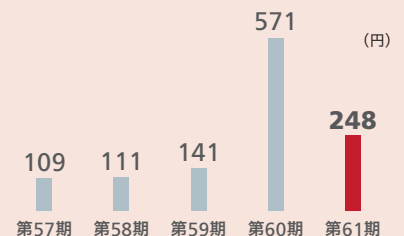
- (注) 1. 広告市場の成熟化やメディア環境の多角化に伴い、当社は広告主に統合的ソリューションを提供しており、区分別の売上を厳密に分別することが困難な場合があります。従って、上記の区分別売上は、厳密に各区分別の売上を反映していないことがあります。
2. 「テレビ広告」は、タイム、スポット、コンテンツより構成されます。(コンテンツには、アニメコンテンツ、文化スポーツマーケティングなどが含まれます。)
3. 「デジタルメディア広告」には、インターネット、モバイル関連メディアなどが含まれます。(WEBサイト制作・システム開発などデジタルソリューションは「マーケティング・プロモーション」に含まれます。)
4. 「OOH(アウト・オブ・ホーム)メディア広告」には、交通広告、屋外広告、折込広告などが含まれます。
5. 「マーケティング・プロモーション」には、マーケティング、コミュニケーション・プランニング、プロモーション、イベント、PR、博覧会事業、デジタルソリューションなどが含まれます。
6. 百万円未満を切り捨てているため、小計額、合計額は各売上区分の合計と一致しません。

通期連結業績の見込み

売上高	354,000百万円 (0.6%増)
営業利益	5,400百万円 (10.2%増)
経常利益	8,550百万円 (0.5%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	5,500百万円 (2.6%増)
1株当たり当期純利益	131.55円

株主還元方針

当社は、原則として1株当たり年間配当額の下限を20円として配当の長期安定性を図りながらも、自己株式取得を含む年間総還元性向の目安を連結当期純利益の50%として年間配当を実施することを方針としております。中間基準日配当は安定的に10円を原則とし、期末基準日配当は下限の10円または年間総還元性向50%の目安を達成する金額のいずれか高い額としております。



経常利益

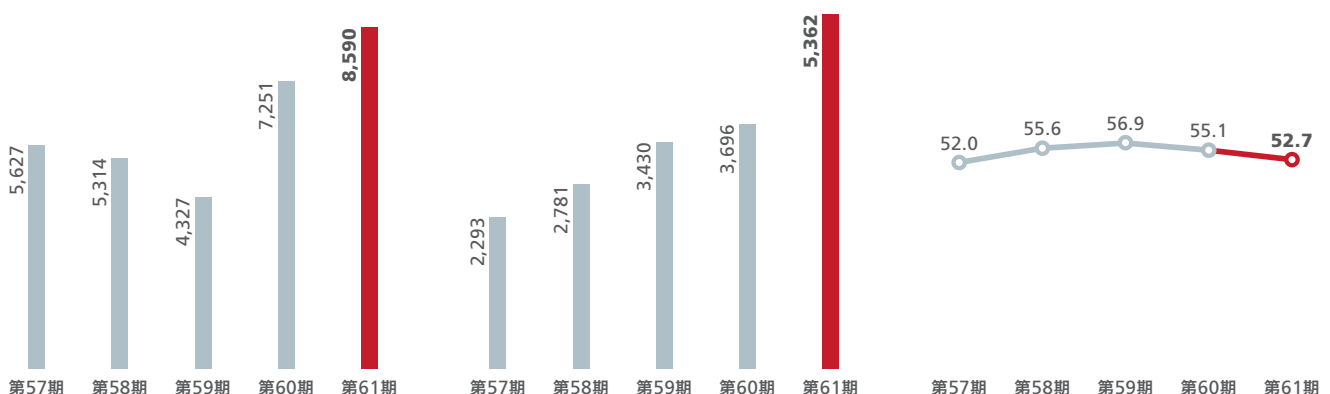
(百万円)

当期純利益

(百万円)

自己資本比率

(%)



NEWS ADK News Digest

ADKニュースダイジェスト

ロンドン・インターナショナル・アワーズ (LIA) 2015で金賞を受賞

ロンドン・インターナショナル・アワーズ (LIA) ※ 2015におきまして、当社が担当した作品が、デザイン部門: Installations / Displays-Temporaryにて金賞を受賞いたしました。受賞作は、広告主がシチズン時計株式会社様の「LIGHT is TIME」。



計の全ての部品を支える「地板」約8万個に光をあて、動き続ける光と音が幻想的な空間を創り出しました。

※ 29年という歴史ある国際的なアワードで、広告・デジタル・デザイン・メディアの分野におけるクリエイティブや新しいアイデアを讃える革新的なグローバルコンペティションの場。

スパイクス アジア2015で ADK台湾が Branded Content and Entertainment 部門で グランプリを受賞



海外現地法人であるUnited-Asatsu International (ADK台湾) が担当した「House of Little Moments (小時光麵館)」シリーズが、スパイクスアジア2015のBranded Content and Entertainment 部門グランプリ及びFilm部門シルバーを受賞いたしました。

台湾のインスタント麺「Uni-Noodle (統一麵)」の魅力「食べる人の気分」に着目して表現したショートムービーで、さまざまな場面での感情をレシピで見事に表現しております。同シリーズは大きな話題となり、実際に架空のラーメン店である小時光麵館を体験できる期間限定レストランまでオープンいたしました。

大ヒットマンガ『ONE PIECE』と市川猿之助の 奇跡のコラボ実現。スーパー歌舞伎II『ワンピース』公演

コンテンツビジネスの一貫したバリューチェーン(ライツ獲得・普及・マネタイズ)の構築の展開として、大人気コミック『ONE PIECE』を新橋演舞場でスーパー歌舞伎II (セカンド)『ワンピース』として上演いたしました。当公演は反響も大きく、新橋演舞場公演は10万人を超える観客で連日満員となりました。

今後もグローバル・コンテンツ・プロデュース会社として収益拡大を図ってまいります。



©尾田 栄一郎 / 集英社

アートディレクター大垣 友紀恵が Campaign Asia-Pacific : “40 Under 40” 2015に選ばれる



アジア若手の注目クリエイターとして、2015年のCampaign Asia-Pacific誌が選ぶ“40歳以下の40人”の一人として選ばれ、インタビューも掲載されました。大垣は12歳の時に、ANAのジャンボ機デザインの公募で優勝を果たし、機体をまるごとクジラに見たてたそのデザインは当時、「マリンジャンボ」として日本中で大ヒットとなりました。子どもの頃からのデザインへの想いを引き継ぎ、現在はアートディレクターとしてADKで活躍しています。



■ 会社の概要

商号	株式会社アサツー ディ・ケイ
英文表記	ASATSU-DK INC.
略称	ADK
本店所在地	〒105-6312 東京都港区虎ノ門一丁目23番1号 03-6830-3811 (代表案内)
設立	昭和31年3月19日
資本金	375億8,136万6,100円
従業員数	1,853名 (単体)
ウェブサイト	http://www.adk.jp

■ 取締役

平成28年3月30日現在

代表取締役社長・グループCEO	植野 伸一
取締役	中井 規之
取締役	植村 好貴
取締役CFO	石渡 義崇
取締役	スチュアート・ニーシュ
社外取締役・取締役会議長	木戸 英晶
社外取締役・監査等委員会委員長	木下 俊男
社外取締役・監査等委員	吉成 昌之
社外取締役・監査等委員	首藤 恵

■ 株式の状況

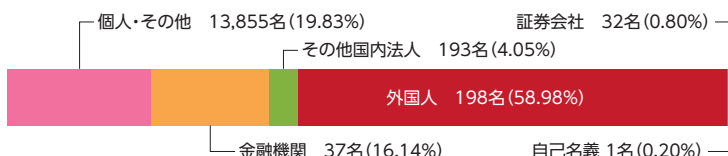
発行可能株式総数	206,000,000株
発行済株式の総数	42,155,400株
株主総数	14,316名

(注) 発行済株式の総数には自己株式 (82,923株) を含んでおります。

■ 大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ダブリューピーピー インターナショナル ホールディング ビーヴィ	10,331	24.51
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	2,514	5.96
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リューエス タックス エグゼンプテド ペンション ファンズ	1,536	3.65
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,173	2.78
ザバンク オブ ニューヨーク メロン エスエー エヌブイ 10	1,161	2.76
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	934	2.22
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー レギュラーアカウント	871	2.07
ノーザン トラスト カンパニー (エイブイエフシー) アカウント ノントリーティ	862	2.05
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・三菱商事株式会社口)	765	1.81
PIONEER FUNDS	510	1.21

■ 所有者別株式分布状況



■ 連結対象会社の状況

● 連結子会社 ● 持分法適用会社 (注) 連結対象会社の内訳は、連結子会社が39社であり、持分法適用会社が7社であります。

地域	会社名
日本	● 株式会社協和企画 (東京都港区)
	● 株式会社ADKインターナショナル (東京都港区)
	● 株式会社ADKアーツ (東京都港区)
	● 株式会社ADKダイアログ (東京都港区)
	● 株式会社エイケン (東京都荒川区)
	● 株式会社ADKデジタル・コミュニケーションズ (東京都港区)
	● 株式会社ライトソング音楽出版 (東京都港区)
	● 株式会社日本文芸社 (東京都千代田区)
	● 株式会社ディーライツ (東京都港区)
	● 株式会社中国物語 (東京都港区)
	● 株式会社バイオメディス インターナショナル (東京都港区)
	● 株式会社ADK保険サービス (東京都港区)
	● 株式会社DAサーチ&リンク (東京都中央区)
	● 株式会社ドリル (東京都渋谷区)
● 株式会社エイエスピー (東京都新宿区)	
● 株式会社プレミア・クロスバリュー (東京都千代田区)	
ヨーロッパ	● アサツーヨーロッパホールディング (アムステルダム)
	● アサツーヨーロッパ (アムステルダム)
	● ノッツヨーロッパ (アムステルダム)
	● アサツドイッ (フランクフルト)
米国	● エイディケイアメリカ (ニューヨーク)
	● サンライツ (ニューヨーク)
アジア	● アサツー ディ・ケイホンコン (香港)
	● ディケイアドバタイジング (香港)
	● 旭通世紀 (上海) 広告有限公司 (上海)
	● 上海旭通広告有限公司 (上海)
	● 旭通 (上海) 展覧広告有限公司 (上海)
	● 北京IMMG国際文化伝媒有限公司 (北京)
	● 聯旭国際股份有限公司 (台北)
	● 太一廣告股份有限公司 (台北)
	● アサツー ディ・ケイシンガポール (シンガポール)
	● スクープアドワールド (シンガポール)
	● IMMGシンガポール (シンガポール)
	● IMMGインドネシア (ジャカルタ)
	● エイディケイタイホールディング (バンコク)
● アサツタイランド (バンコク)	
● アズディック (バンコク)	
● ダイイチキカクタイランド (バンコク)	
● アサツ ディ・ケイマレーシア (クアラルンプール)	
● ダイイチキカクマレーシア (クアラルンプール)	
● アサツ ディ・ケイベトナム (ホーチミン)	
● ディアイケイベトナム (ホーチミン)	
● アサツ ディ・ケイコリア (ソウル)	
● 広東旭整合营销传播有限公司 (広州)	
● 北京東方三盟公共関係顧問有限公司 (北京)	
● 奥旭 (上海) 市場營銷服務有限公司 (上海)	



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
1単元の株式数	100株
剰余金配当の基準日	毎年6月30日および毎年12月31日 この他、必要があるときはあらかじめ公告して定めます。
株主総会の基準日	毎年12月31日 この他、必要があるときはあらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 東京証券代行株式会社 なお、お取次は三井住友信託銀行株式会社全国本支店 (コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く。) にて行っております。
同連絡先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎0120-49-7009

公告方法 電子公告 (<http://www.adk.jp>)
ただし、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式に関する 手続きのご案内

- ①ご住所等、各種株主様情報の変更に関する届出
 - ②配当金の受取方法のご指定
 - ③単元未満株式の買取・買増請求
- ①～③のお手続きに関しましては、当社株式を証券会社に開設された口座にてご保有の株主様は、当該証券会社へお問い合わせください。なお、証券会社に当社株式についての口座がないため特別口座が開設された株主様は、左記株主名簿管理人へお問い合わせください。
- ④未払い配当金のお支払
- ④のお手続きに関しましては、左記株主名簿管理人へお問い合わせください。

ADKのIRサイトでは過去の決算情報、IRカレンダー、本冊子のPDF版など多様なコンテンツを掲載しております。また、メール配信サービスにご登録いただくことで最新のIRニュースを配信いたします。

ADK IR

GO

www.adk.jp/ir/



この冊子は環境保全のため、
植物油インキとFSC®認証紙
を使用しています。

